

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策5_文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」		重点プロジェクト	
	(1)魅力ある資源の活用		東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術施策の発信強化	
事業名	チバリアフリーアートプロジェクト(旧名称:車椅子アートプロジェクト)			
実施主体	実行委員会	(名称)チバリアフリーアートプロジェクト実行委員会		
市との関わり	主催		負担金	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先)245-5961(内)	

事業概要	開始年度	平成28年度			
	事業費	(予算)市: 5,000	その他:	(決算)市: 4,548	その他:
	内容	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化芸術の取り組みとして、障害の有無を問わず多様な人達がみんなで行う文化芸術活動を応援する「千葉市」発信の「バリアフリー」な取り組みである。障害者と健常者が一緒になって楽しめるファッションショーや、車椅子ダンサーなどによるパフォーマンス、手話パフォーマンス、新たに市内の福祉施設で制作された絵画や織物などのアート作品の展示や音楽ライブなどを行う。			
	目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、本市の文化を発信するとともに、文化芸術の側面からバリアフリーやユニバーサルな社会形成への一助となることを目的とする。			
	目標	(数値)観客数の増加		(昨年度)観客数1,300人	
	ねらい	(対象)市民			
		(求める効果)			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピックパラリンピック協議大会を契機に、市ゆかりのアーティストや市内の学生、市内で普段から芸術活動を行っている障害者の方が参加するイベントを実施することで市の多様な魅力を発信すること。</li> <li>・車椅子ユーザーなどの障害がある方が参加でき、また誰もが気軽に目にする場所で発表することで、障害のある方の表現を身近に感じてもらう。</li> </ul>			
		(アプローチ方法)			
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの実施にあたっては、千葉市芸術文化新人賞受賞者など市ゆかりのアーティストやパフォーマーを活用した。また、アート展示では、千葉市芸術文化新人賞受賞者(美術家)のキュレーションによる市内の福祉施設で制作された絵画や織物などの作品展示を行うなど、市ゆかりのアーティストの活躍の場を提供するとともに、市内で積極的に文化芸術活動を行っている福祉施設の作品を紹介した。</li> <li>・障害のある方が参加するバリアフリーファッションショーや手話パフォーマンスを実施した他、アート展示では、市内にある福祉施設で知的障害がある利用者が制作した絵画や織物等の作品を展示。また、聴覚障害者も一緒に楽しめるように各所に手話通訳を配置した。</li> <li>・あえて多くの方が行き交う商業施設で実施することにより、様々な方が気軽に鑑賞できるようにした。</li> <li>・千葉市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技開催都市となっていることから、全国的に様々な機運が高まるこの機会に、この大会を契機に文化芸術活動を盛り上げていくイベントであることを明確にするため、公認文化オリンピックアードを取得した。</li> </ul>			
開催日程:平成31年1月31日(木)~2月3日(日) 会場:イオンモール幕張新都心1階グランドコート、3階イオンホール 実施内容:バリアフリー・ファッションショー、車椅子ダンサーなどプロによるダンスパフォーマンス、手話パフォーマンス、アート展示、音楽ライブ等の実施 来場者数:ステージイベント 延べ約1,300人、アート展示 延べ約770人、CHILDHOOD音楽ライブ約100人、ボッチャ・ちぎり絵体験80人 計:延べ約2,250人 出演者数:67人 スタッフ数:89人					
情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市政だより</li> <li>■ HP</li> <li>■ ポスター・チラシ</li> <li>■ フェイスブック・ツイッター</li> <li>□ その他( )</li> </ul>					

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し			
1 基本 施策 と の 適 合	(1) 妥 当 性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>ステージイベントにおける市ゆかりのアーティストや市内の特別支援学校の学生の出演や、市内の福祉施設で制作された絵画や織物等の作品展示を行うことで、本市の人的資源を活用した文化の発信に努めた。よって、この事業の目的設定は、基本施策5(1)(2)魅力ある資源及び人材の活用に沿っていることから、妥当である。</p>
	(評価に関連する数値等)		
	(2) 達 成 度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>ステージイベントに市ゆかりのアーティストや市内の特別支援学校の学生が出演したり、市ゆかりのアーティストが市内の福祉施設で制作された絵画や織物等のアート展示のキュレーションを行うなど、本市の人的資源を活用した文化の発信に努めた。来場者アンケートでは、約30%の方が「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」と回答している。今後は、紹介のアナウンスを増やす等、さらに認知度を高めるための工夫について検討していく。</p>
(評価に関連する数値等)			
アンケート結果：「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」 来場者の回答数95件のうち26件、アート展示来場者の回答数274件のうち87件			
(3) 波 及		<p>(評価の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チバフリのチラシ等の広報物の制作は市内のデザイン専門学校に、出演者のヘアメイクを市内のヘアメイク専門学校に、体験コーナーの企画運営を学生団体に、手話パフォーマンスの実施にあたっては淑徳大学の学生に協力を依頼するなど、大学や専門学校、学生団体等と協働しながら実施し、基本施策④(2)多様な協働・連携の促進に寄与した。</li> <li>・上述のとおり、学校を中心として、様々な方にボランティアとして協力をいただいたことから、基本施策2(3)文化芸術活動を支える人材の育成に寄与した。</li> <li>・手話パフォーマンスは千葉聾学校と連携を図り、学校内での4回の練習を経て、本番イベントにて披露するものであり、基本施策1(2)参加・体験型活動の促進に寄与した。</li> <li>・イベントを商業施設によって実施することにより文化施策3(1)文化施設以外の活用に寄与した。</li> </ul>	
(評価に関連する数値等)			
実施会場数延べ28会場			

2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	(1) 市民主体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・ステージイベントでは、プロのパフォーマーだけでなく、特別支援学校の学生や市内大学の学生が出演するなど、様々な方が出演するプログラムとした。また、手話パフォーマーのアンケートでは、多くの参加者が「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」と回答。これは、新しい文化芸術分野への敷居をなくし、市民の日常的な活動や行動に結びついたものと考えられる。 ・学生団体が体験コーナーを企画運営している他、学生ボランティアが出演者の誘導やヘアメイク等を行うなど、市民が企画や運営面に強く関わっている事業と考えられる。 ・アート展に協力いただいた市内福祉施設からは、「商業施設での開催や作品をアーティストにキュレーションしてもらうのは、貴重な経験であり、施設職員、入所者、入所者家族から大変好評であった。次回も参加したい。」との声をいただいた。
		(評価に関連する数値等) ・アンケート結果：「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」28件中15件 ・学生ボランティア37名（うちヘアメイクボランティア4名）	
	(2) こども・若者	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・ステージイベントには、特別支援学校の学生がファッションショーのモデルとして参加。手話パフォーマンスでは、特別支援学校の学生と市内大学の学生が事前の練習に参加して、練習の成果を本番公演で披露した。手話パフォーマーのアンケートでは、多くの出演者が出演してみて「楽しかった」「音楽やダンスがもっと好きになった」「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」と回答。これは、子どもたちが文化芸術に親しみ、今後も活動をしてみたいという思いに結び付いたものと考えられる。
		(評価に関連する数値等) 「楽しかった」手話18件中26件、「音楽やダンスがもっと好きになった」手話28件中26件 「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」手話28件中15件	
	(3) 領域の広がり	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・本事業は障害の有無に関わらず、様々な方がファッションショーやダンスなどのパフォーマンスショーとアート展示に参加している。 市内の福祉施設で制作された絵画や織物などのアート展の来場者アンケートでは、「作者の障害の有無ではなく、作品としてすばらしかった」「作品としての完成度の高さに驚いています」「アウトサイダー・アートの枠に収まらないくらいレベルが高い」などの作品についての好意的な感想が多かった。また、多くの来場者が「アウトサイダー・アートやアール・ブリュットなどのジャンルに興味を持った」「今後もまああるい広場の作品展に行ってみよう」と回答。新たなジャンルへの興味関心の高まりや障害に対する見方の変化などがあったものと考えられる。
		(評価に関連する数値等) 「アウトサイダー・アートやアール・ブリュットなどのジャンルに興味を持った」274件中46件、「今後もまああるい広場の作品展に行ってみよう」274件中92件	

3 事業のねらい	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>市ゆかりのアーティストや市内の学生、市内で普段から芸術活動を行っている障害者の方にイベントに参加してもらうことで、市が持つ多様な魅力を発信することは基本施策5(1)(2)魅力ある資源及び人材の活用に沿っていることから、妥当である。</p> <p>また、障害のある方が参加でき、その表現を身近に感じてもらう取組は、オリパラを契機に市民の文化芸術への参加活動に結びつき、バリアフリーやユニバーサルな社会の形成につながるものと期待できることから、重点プロジェクト「東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術施策の発信強化」にそっていることから妥当である。</p>
		(評価に関連する数値等)	
	(2) アプローチ	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>・来場者アンケートでは、約30%の方が「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」と回答していることから、芸術文化新人賞受賞者を作品展示やライブパフォーマンスの分野で活用するといったアプローチは、市ゆかりのアーティストやパフォーマーの他、市内で文化芸術活動が盛んな福祉施設についての市民への認知度を高めることに繋がったものと考えられる。今後は、さらに認知度が高まるような新たな取り組みを検討していく。</p> <p>・ショッピングモールで、文化芸術新人賞受賞者のアーティストが福祉施設の作品を効果的に展示し、普段の制作現場の様子を音楽とともにプロジェクターに映し出したり、また、施設に通所する方々が製作する様子をその場で見せる手法が、障害のある方の表現を身近に感じてもらうことに寄与していると考え。</p> <p>・市内の聾学校の生徒と淑徳大学の学生がともに手話パフォーマンスの練習を重ね、本番で成果発表を行うことや、ファッションショーのモデルに市内特別支援学校の生徒から公募を募ることは、障害者の方にイベントに参加していただくことのアプローチとして妥当。</p>
		<p>・アンケート結果：「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」 来場者の回答数95件のうち26名、アート展示来場者の回答数274件のうち87件 ・出演者67名、スタッフ89名（うち学生ボランティア37名）</p>	

4 市民との 関わり	(1) 満足度	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1</li> <li><input type="checkbox"/> 2</li> <li><input type="checkbox"/> 3</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 4</li> </ul> <p>・出演者アンケートでは、多くの方が「楽しかった」「音楽やダンスがもっと好きになった」「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」と回答。これは、子どもたちが文化芸術に親しみ、今後も活動をしてみたいという思いに結び付いたものと考えられる。</p> <p>・また、来場者アンケートでは、「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」「今後もまああるい広場の作品展に行ってみたい」と回答。千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーの活動に興味を持ってもらえるきっかけとなった。</p>
		<p>(評価に関連する数値等)</p> <p>出演者アンケート結果： 「楽しかった」手話・モデル出演者の回答数39件中36件、「音楽やダンスがもっと好きになった」手話28件中26件、「今後、自分達でも手話パフォーマンスを続けてみたいと思った」手話28件中15件</p> <p>来場者アンケート結果： 「今後もまああるい広場の作品展に行ってみたい」274件中92件、「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」来場者の回答数95件のうち26名、アート展示来場者の回答数274件のうち87件</p>
	(2) 周知度	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 2</li> <li><input type="checkbox"/> 3</li> <li><input type="checkbox"/> 4</li> </ul> <p>・手話パフォーマンスの応募者数は昨年同様であったが、特別支援学校モデルの応募者数は減少したので、次年度以降、周知方法や参加対象の見直しを検討する必要がある。</p> <p>・ステージイベントの来場者アンケートでは多く方が何で知ったかの設問に「知人の紹介」と回答。また、アート展の来場者アンケートでは多く方が「偶然通りかかった」と回答。</p> <p>・来場者は延べ約 2,250人と1階から3階にかけて非常に多くの方に観覧いただいた。</p>
		<p>(評価に関連する数値等)</p> <p>手話パフォーマンスの応募者数28名(去年は26名) 特別支援学校モデルの応募者数18名(去年は52名)</p> <p>来場者アンケート結果： 来場者アンケート「知人の紹介」95件中29件「SNS」2件 アート展の来場者アンケート「偶然通りかかった」274件中167件「SNS」6件</p>

5 効 果	(1) 活 動 の 活 性 化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・イベントの実施にあたっては、千葉県芸術文化新人賞受賞者など市ゆかりのアーティストやパフォーマーを活用した。また、アート展示では、千葉県芸術文化新人賞受賞者（美術家）のキュレーションによる市内の福祉施設で制作された絵画や織物などの作品展示を行うなど、市ゆかりのアーティストの活躍の場を提供するとともに、市内で積極的に文化芸術活動を行っている福祉施設の作品を紹介した。 ・来場者アンケートでは、「千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーを知った」「今後もまあいい広場の作品展に行ってみたい」と回答。千葉で活躍しているアーティストやパフォーマーの活動に興味を持ってもらえるきっかけとなった。 ・イベントの企画運営にあたっては、大学や専門学校、学生団体など様々な主体の協働、連携により実施した。
		(評価に関連する数値等)	
	(2) 費 用 対 効 果	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) ・来場者数：ステージイベント 延べ約1,300人、アート展示 延べ約770人、CHILDHOOD音楽ライブ約100人、ポッチャ・ちぎり絵体験80人 計：延べ約2,250人 ・来場者アンケートでは、「とても素晴らしいイベントだと思います」「障害があっても一般の人と楽しめるイベントで良いと思いました」などの意見が寄せられた。アート展の来場者アンケートにおいても好意的な意見が多く得られた。 ・アート展会場内で開催した音楽ライブの来場者は約100名と今回の会場の収容人数からすると、概ね満員であるが、ステージイベントと連携することで来場者増に繋げることが可能だと考えるので、次回は来場者増に対応した椅子席の増やアート展会場内のレイアウトの変更などが必要となる。
(評価に関連する数値等)			
(3) そ の 他 の 効 果	<input checked="" type="checkbox"/>	(評価の理由) ・アンケートから、千葉市内の方だけでなく、千葉市外からの来場者も多い。 ・プログラムにポッチャの競技紹介を取り入れたり、ポッチャの体験コーナーを設けた。また、チバフリのリーフレットとあわせて東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会についてのリーフレットも配布することで、大会の機運醸成に寄与した。	
	(評価に関連する数値等)		